

一般社団法人市民連帯経済つながるかながわ

住所：横浜市中区南仲通4-39 石橋ビル4階 E-Mail: info@tsunagaru-kanagawa.org

TEL: 045-211-4667 FAX: 045-662-4306 開所時間：9時30分～17時

参加団体 (2025年12月末) ◆正会員 88団体 ◆賛助会員 13団体



◀HP



◀Instagram



◀Facebook

Contents

- つながるかながわ生活クラブ まちづくり基金 助成決定!
- まちづくり基金 申請者の声
- 探訪記番外編 まちづくり基金 審査会に参加して
- ワーカーズ・コレクティブ紹介「くるまやさん」
- つなかなおトク情報

つながるかながわでは「支援」「ネットワーク」「事業」の3つのセクションが連携して活動しています。今号ではネットワークセクションの取り組みである「つながるかながわ生活クラブまちづくり基金」をとりあげます。



第1回

つながるかながわ生活クラブまちづくり基金

助成決定!

生活クラブ神奈川では、組合員から月100円の寄付を募り、「生活クラブまちづくり基金」を運営しています。集まった寄付は(公財)かながわ生き生き市民基金を通じて県内の公益事業へ助成されると共に、つながるかながわにも配分され、地域で活動するワーカーズ・コレクティブやアソシエーションへ「つながるかながわ生活クラブまちづくり基金」として助成しています。助成審査は県内5地域のまちづくり基金審査委員会で行われ、11月に理事会で助成先・助成金額が承認されました(別紙)。助成決定後、5つの地域でそれぞれ贈呈式が開催されています。



助成団体には盾が贈られました



贈呈式後には交流会を開催。話が弾みました



横浜みなみで開催された贈呈式には生活クラブの組合員やワーカーズ・コレクティブのメンバーが50名ほど参加し、盾の贈呈や助成団体からの活動報告の後に、審査員から応援の言葉が寄せられました。参加者は自身の暮らす地域の課題や、その対策となるチャレンジに耳を傾けました。交流会では、助成先の一つであるワーカーズ・コレクティブ ミズ・キャロットみなみランチが作った軽食も用意され、つながりを築きました。

生活クラブの組合員とワーカーズ・コレクティブがまちづくり基金でつながり、力を合わせ、共にまちづくりを進めていることを強く実感できる贈呈式となりました。

一般社団法人ワーカーズ・コレクティブ

はっぴいさん 横浜みなみ

「一般社団法人ワーカーズ・コレクティブはっぴいさん」は、神奈川県「公共の場づくりのためのモデル事業」をきっかけに2013年に設立されました。就労経験が少なく様々な事情を持った若者とシニアのサポーターが、高齢者や地域の方々に生活支援サービスを提供しています。今後は新たに“植物”を中心とした古物の買取、再生、販売事業を検討しているそうです。“新しい事業”の創生は、はっぴいさんでは初めての試みとのこと。助成承認後にメンバー宅で行われたバーベキューからさわあさおに、つながるかながわ事務局長も参加させていただき、理事長の唐沢明男さんにお話を伺ってきました。



唐沢さん(最前列右)とメンバーの皆さん



「はっぴいランチ」では、シニアのために「はっぴいさん」のメンバーが料理を作って盛り付けます

2024年末に、はっぴいさんで働く若者が中心になって“新規事業を模索する会”が発足しました。助成金を元手に法人として「古物商許可」を取得し、メンバー各々の“得意”や“好き”を活かした事業を展開し、多様なメンバーが参加したいと思える新しいワークの創造を目指します。また、清掃を請け負っている生活クラブのセンター5ヶ所を、効率よくきれいにするためのトレーニング費用も助成金から捻出します。(唐沢さん)

はっぴいさんの新しいチャレンジを、つながるかながわはこれからも応援していきます!



メンバー宅の庭でBBQの準備

おしるとごはん 横浜北

「おしるとごはん」は2025年に設立され、働きながら小学生の子を育てている保護者を対象として活動しています。月に一度、仕事帰りに子どもとともにこの場を訪れ、夕飯をみんなで共にしながらほっと一息つき、話をしながらお腹も満たせる時間を持つことを目的としています。

「活動を行う側も、小学生の子を持ちながら働いている親たち。子ども親も、ケアする側・される側ではなく、対等な立場だからこそフラットな磁場よしざわひろこが生まれるという想いでこの活動を実践しています。」と代表の吉澤寛子さん。活動する人の負担が大きくならずに済むよう、調理するのは大鍋にたっぷりの具沢山味噌汁 or スープのみ。訪れる親子は、白ごはん持参。家からご飯を持ってくる時間さえない場合はコンビニのおむすびでも、パックの白米でもOK。



「おしるとごはん」の中心メンバー。一番左が代表の吉澤寛子さん

この活動では夕食がメインではなく、どちらかという子どもも親もほっと寛いでおしゃべりできることに重きを置いて、一汁三菜揃っていなくても、おしゃべりの傍らに温かい味噌汁とごはんがあれば、それで充分。そんな想いもあり、団体名を“おしるとごはん”にしたそうです。

助成決定の連絡を受けて「みなさんからお贈りいただく大切なお金、おしるとごはんに足を運んでくださる方々へ心を込めて還元し、小さな笑顔のひとつでも増やしていけたら幸いです。」と吉澤さん。新しくはじまった取組にたくさんの人たちのワクワクが詰まっていると感じました。



基金のお知らせも置いてあります



プレゼン頑張りました!



まちづくり基金 審査会に参加して

つながるかながわ生活クラブまちづくり基金は、つながるかながわの正会員でもある生活クラブの組合員による「まちづくり」への参加の形として、おおぜいの組合員からの月々100円の寄付で運営されています。今年度は5つのエリアのうち、横浜北、かわさき、湘南エリアの各審査会に参加しました。

まちづくり基金 概要 (2025年度)

助成額 上限**10万円** (5地域各54万円 / 総額270万円)



助成対象団体 1. 県内の地域で活動するアソシエーション(共通の思いをもつ自主的なグループ)
2. つながるかながわの会員団体

助成対象分野 食(農を含む)、環境(エネルギー)、福祉(ケア)、働く(協同労働)など幅広い分野。
※居場所づくり、子育て支援、学習支援、就労・居住支援などが含まれます

基金の使い道 取り組みの立ち上げや維持・発展、設備投資、メンバーの研修など。



発表者も審査員も真剣です(湘南エリア審査会にて)

審査プロセス (2025年度)

- 6月2日～ 相談・申請の受付開始
- 7月31日 申請締切
- 8月1日～ 地域からの推薦を募集
- 9月中旬～10月下旬 審査会(書類審査とプレゼンテーション)
- 11月20日 つながるかながわ理事会にて助成先決定・通知
- 12月 贈呈式(一部地域では2月に開催されます)

※2026年度は助成額、対象団体等の諸条件が変更になる可能性があります。

審査会はプレゼンテーションを聞き、審査することが目的です。しかし同時に、審査員である生活クラブの組合員やワーカーズ・コレクティブのメンバーが申請団体の取り組みを学び、質疑や意見交換を行う交流の場にもなっていました。お金だけではなく、つながりを生むまちづくり基金の意義を強く感じることができました。



ワーカーズ・コレクティブのご紹介

ワーカーズ・コレクティブ くるまやさん

「くるまやさん」は2002年から20年以上にわたり、
移動支援サービスを提供している会員団体です。
今回は、「くるまやさん」代表のこやようこ小矢洋子さんにお話を伺いました。



移動サービス (福祉有償運送)

住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていきたいという思いに寄り添い、外出困難になっても、行きたい時に行きたい所へのお出かけを、車と介助でお手伝いします。お出かけ企画も実施しています。普通乗用車のほか車椅子のまま乗れる車もあります。



2025年6月の「つながるかながわ 第2回社員総会」では、参加団体の皆さまにより活発な意見交換がなされ、つながるかながわにとって貴重なご意見を数多く頂戴しました。中でも「くるまやさん」の発言には多くのワーカーズが共感し、ひとつの問題提起として大きな注目を集めました。それは、「数あるワーカーズ・コレクティブの中でも、生活クラブの委託事業を受けていない団体は、生活クラブやその組合員と事業の上で発展的な関係性を構築することが難しい」というものでした。



小矢さん(左から2番目)とメンバーの皆さん

私たちは湘南まちづくり会議のメンバーでもあるので、総会終了後に湘南生活クラブの理事の方々とコミュニケーションがとれ、地域の集まりに参加する機会が増えました。また、「生活クラブまちづくり基金」に申請したことで、私たちの活動を湘南生活クラブの組合員に知ってもらいやすい機会となり、つながりがとても深まったように感じます。これからも地域のニーズに応えようと共に関心のある組合員のために私たちに何が出来るかを考えて、連携を強めていきたいと思っています。

(小矢さん)

つながるかながわは会員団体のチャレンジをとにもすすめます

つな かな お トク 情報

顧問税理士のご紹介

かねこ だいや金子 大也さん (金子税務会計事務所)

つながるかながわでは、弁護士、社労士、税理士と顧問契約を交わしています。会員団体の初回相談は無料(1時間程度)となっています。

今回ご紹介するのは、税理士の金子大也先生。生活クラブの税務顧問として40年以上の歴史を持ち、ワーカーズ・コレクティブの税務と経営について長年アドバイスを頂いてきました。



金子 大也さん

Q 長年W.Coの相談を受けてこられた先生から見て、これからW.Coが考えていかななくてはならないことは何でしょうか？

A これはどの組織でも同じ問題ではありますが、1番は人材の確保だと思います。特にW.Coの場合、まちづくりや社会改革など理念の共感と同時に、経済的にも見合う組織づくりをどうしてゆくのかが、これが最大の課題だと思います。

Q 「こんな相談も受けられます」という例はありますか？

A 組織の中には課税売上が1,000万円以下のいわゆる免税事業者も多いと思います。今回の税制改正で取引先が仕入税額控除を受けられない時期が先に延びましたが(令和13年10月以降)、将来を鑑みてW.Coとして課税事業者になるべきかどうか、迷ったときには相談していただければと思います。

相談の依頼は・・・つながるかながわWebサイト > 会員専用ページより「相談依頼書」をダウンロード

※ログインパスワードは事務局までお問合せください

編集 後記

第1回目の助成金を、無事、申請団体に届けることができました。同じ地域に暮らす人や働く人との関係性が希薄になっている今だからこそ、意義あるまちづくりのための基金だと、強く感じることができました。